

# 清代天山南路地区における 法律制度の研究

## 《清代天山南路地区法律制度研究》

2016年6月21日（火）  
15:00～17:00

明治大学駿河台キャンパスグローバルフロントC5会議室（17階）

王 東平（WANG, Dongping）  
北京師範大学（中国）教授



王東平教授は、中国史・法制史及びイスラム学を修得し、清代天山南路地区における法律制度の研究を起点として研究を続けてこられました。明清時代のムスリム社会の法律や文化・経済政策について、『明清西域史与回族史論稿』『清代回疆法律制度研究』を上梓されています。近年、イスラム碑刻資料や海外所蔵の清代檔案、少数民族資料などを活用して、新たな時代像を構築されています。

本講義では、清代天山南路地区（文献中では「回疆」と称される）における法律・制度研究の諸相について御講義いただきます。中国の辺境地区は、中原地区と古代より政治・経済・文化・法制など様々な面で密接な関係を持ちつつ、特徴的な発展を遂げてきました。清代の天山南路地区における法律・制度の歴史的変遷を探り、その特徴を清朝の法律や地方のイスラム教の法律と比較検討していきます。

★聴講無料（事前申込み不要）

★大学院生・研究者向け

言語：中国語（日本語訳あり）

講義企画者・問い合わせ：明治大学文学部

櫻井智美 <sakurais★meiji.ac.jp>（★→@）

主催：明治大学文学部アジア史研究室 後援：明治大学国際連携本部